令和８年度一般財団法人泉佐野市文化振興財団事業計画

令和８年度は、文化会館ならびに生涯学習センター・佐野・長南・日根野公民館の指定管理者公募にて、５年間の選定を受けた最終年となります。

財団は指定管理期間の締めくくりとして、また、会館３０周年を迎えた節目となる年として、公募時に掲げた理念や方針、目標を具現化して参るため、これまでの「経験と実績」を源泉としながらも、急速に変わりゆく社会情勢に対し、「変化への対応力と創意工夫」をもって、引き続き運営して参りま

そして、財団の運営方針である「利用者ニーズを反映した施設運営」「安全・安心で快適な施設管「市民参加と多様なジャンルでの文化振興」の三つを基本方針としながら、新しいスマートライフの中での運営を以下のとおり計画、実施して参ります。

１．貸館業務

① 感染症等予防の衛生活動を一定の内容で継続し、安心して利用頂ける施設内環境を提供して参ります。
② コロナ禍で減少した施設利用機会の回復に向け、広報誌や会館ＨＰ、ＳＮＳでの情報発信により利用促進に繋げて参ります。
③ 引き続き貸館窓口でのキャッシュレス化ならびにインターネット上での決済システムの運用を継続し、利用者の利便性を高めて参ります。
④ ワンストップサービスの充実を図り、きめ細やかなサービスの提供に努めます。
⑤ 館内共有スペースに利用者が楽しんでいただけるオブジェや飾りつけを四季に合わせて設置します。
⑥ 各公民館のクラブ活動の活性化を図るべく、クラブ登録の条件を泉佐野市と協議のうえ緩和し、地域住民による自主的な生涯活動をサポートして参ります。

２．施設の維持管理業務

① 文化センターの経年劣化による設備機器の改修・更新を泉佐野市に提案し、安全で安心できる施設の維持管理に努めます。
② 各施設の消防計画や感染症拡大時などの危機管理マニュアルを現状に合致した内容に改定し、不測の事態・事故に備えます。
③ 昨今の化石燃料費の高騰も鑑み、年次目標を設定し、光熱水の効率的な運用ならびに廃棄物の抑制をおこない、環境にやさしい施設づくりに取り組みます。
④ 建物、設備機器の法令点検やメンテナンス業務を計画的に実施し、施設を最良の状態に保てるよう努めます。
⑤ 軽微な修繕や点検業務については、職員及び従業員で実施し、維持管理経費の軽減に努めます。

⑥ 佐野・長南公民館は、文化センターと同様に建物や設備機器の老朽化が大きな問題となっています。よって建築設備更新計画案を泉佐野市に提案し、利用者の安全性を最優先に考えた、安心して利用できる公民館運営を目指します。

⑦ 令和元年度から管理運営を開始しました日根野公民館については、他施設の管理を長期にて手掛けてきた実績を活かし、今後の中期的な建物及び設備機器の修繕、更新計画を立案して参ります。

３．文化振興事業

令和７年度は、大阪・関西万博の開催に大いに沸き、成功裏のうちに幕を降ろしました。財団としても開館３０年目の記念年として、様々な記念公演やイベントを開催して参りました。

令和８年度においてもこの機運を継続し、この状況を途絶えさせることなくホールに賑わいを取り戻すことに注力いたします。

さらには、今日まで培ってきた経験と実績、更には泉佐野市、泉佐野市文化協会、泉の森コンクール委員会、泉佐野市音楽家クラブ、泉佐野おや子劇場など地域団体との連携を最大限に活かした文化振興事業を展開します。

また、公演チケット購入の促進、利便性の向上を図るため、オンラインで座席を選び決済出来るシステムを導入して参ります。

公民館事業については、先に述べた関係諸団体やクラブ活動者と連携し、様々なジャンルでの講座や公演を企画・実施して参ります。

なお、全体の文化振興事業は、下記の６つの分野を主軸として、バランスの取れた事業計画を提案して参ります。

① 文化振興事業編成

概ね、次の事業編成を計画しています。

○ 市民参加型事業
○ 音楽家・芸術家等の発掘・育成・普及事業
○ オーケストラ・室内楽事業
○ 一般鑑賞型事業
○ 地域文化の発展を目指した事業
○ 賑わいづくり事業

② 広報・宣伝

年３回発行の情報紙「エブノ泉の森ニュース」を市内ならびに近隣世帯への折り込みとＷｅｂ広告にて周知しつつ、近隣の商業施設や府内外の劇場等にチラシやポスターの掲示、配架を行い、ホールの様々な情報提供に努めます。

また、時代に沿った活動として「Ｘ」や「Ｆａｃｅｂｏｏｋ」「ＬＩＮＥ」「インスタグラム」などのＳＮＳによる情報発信を拡張して参ります。

地元のケーブルテレビやミニコミ誌と連携し、公演情報の案内にとどまらず、施設の魅力や特色をアピールして参ります。

③ 情報収集

利用者の意見を把握するために公演実施の際、来場者アンケートの配布を行い、情報収集に努めます。

併せて、文化会館公式ＳＮＳでの「つぶやき」や「コメント」をすくい上げ、ダイレクトな感想や意見を活用して参ります。

また、泉佐野市内では、さまざまなイベント企画、全国大会や学会の誘致活動が積極的に行われています。財団は、市の担当課と情報を共有し、イベント内容によっては協力、協働し地域文化の活性化に繋げて参ります。

また、様々な団体や協議会等の研修や講座に参加することにより、他館との交流を深め、他施設や近隣地域の文化情報等の収集に努めます。

４．ホール会員組織

旧組織（泉の森ホール友の会）の会員数の減少傾向に加え、世の中のデジタル化の急伸や生活様式の変革を鑑み、令和４年度から新たな組織を立ち上げ運営しております無料メール会員組織「ｉｚｕＭｅｅｔＳ（いずみーつ）」においては、登録者数は2月末現在２，０３６名です。

昨年同月と比較しますと３２６名の増加となっており、新組織の立ち上げに伴い順調に推移しております。

現在はメールにより管理運営しておりますが、より手軽で閲覧しやすいアプリケーションの運用を検討して参ります。

また、文化振興事業のサポーターとして協力、活動いただく「サポートスタッフ」の募集や育成においては、４０名弱の登録をいただいております。

エブノ泉の森ホールの文化振興事業において、今まで以上に市民と協働し、参画・活躍いただける組織を引き続き構築して参ります。